

東京工業大学(学部入学定員:1,068人)

[取組学部・研究科等: ○工学部(733人)、理学部(185人)、生命理工学部(150人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

高度科学技術人材の活躍の場は、先進国に留まらず新興国の様々な分野へ広がっているものの、我が国において、新興国等へ国境を越えて活躍できる人材が十分には育成されていないことから、新たな学士課程の教育プログラムを構築し、国境を越えて活躍する「知・技・志・和」のグローバル理工人を育成することを目的とする。

【構想の概要】

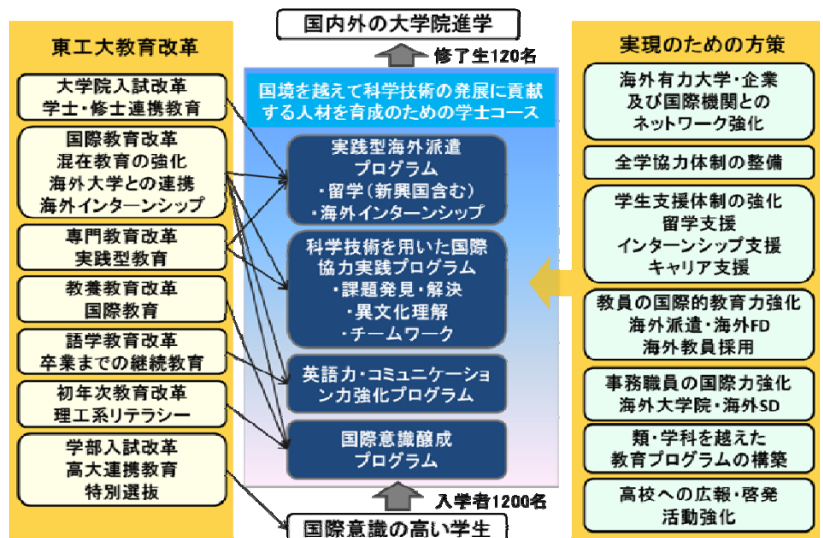
学士課程の教育プログラムとして「グローバル理工人育成コース」を新設し、平成25年4月の学部入学から毎年10%(120名)程度の学生を選抜してコース所属させ、新興国等へ国境を越えて活躍できる理工人となるための教育を実施する。

■ グローバル理工人育成コースの設置

○本コースの所属学生に対して、確固たる専門力に加えて、次の能力を養う。

- (1) **国際意識**
国際的な視点から多面的に考えられる能力、グローバルな活躍への意欲
- (2) **英語力・コミュニケーション力**
海外の大学等で勉学するのに必要な英語力・コミュニケーション力
- (3) **異文化理解力・チームワーク力**
国や文化の違いを越えて協働できる能力
- (4) **課題発見・解決力**
複合的な課題について、制約条件を考慮しつつ本質を見極めて解決策を提示できる能力
- (5) **実践的能力**
自らの専門性を基礎として、海外での危機管理も含めて主体的に行動できる能力、科学技術者倫理の理解

国境を越えて活躍するグローバル理工人の育成



■ 教育内容

○本コースの所属学生は、学科の標準課程を履修することに加えて、次の四つのプログラムで構成するコース科目を履修する。

- (1) **国際意識醸成プログラム**
学科所属前の一年次類別教育の内容の充実・向上を図るとともに、全学共通科目を設置し、多様な講師陣による講義や体験型のプログラムを通して国際的なキャリアへの関心を高める。
- (2) **英語力・コミュニケーション力強化プログラム**
コース修了生の到達目標をTOEICで750点とし、標準の学習課程に加えて、習熟度別クラス編成による集中講義、アカデミックプレゼンテーション科目や留学対策科目の強化、Eラーニングによる自主学習機会の付与、ライティング/スピーキングラボの取組などにより実践的コミュニケーション力を強化する。
- (3) **科学技術を用いた国際協力実践プログラム**
外国人招聘教員による実践的PBL講義、留学生との協働型PBL講義、海外フィールドワークなどの多彩な科目により修得した知識を実際問題に適用できる力を養成する。
- (4) **実践型海外派遣プログラム**
短期派遣科目(3ヶ月未満)あるいは長期派遣科目(3ヶ月以上)を選択履修させ、海外パートナー大学や国際機関において研究プロジェクト等を実施することで、実践的能力を涵養する。

■ グローバル化を推進する取組

○本構想を実現するために学内体制を整備し、以下の事項について取組む。

- (1) **教育課程の国際通用性の向上**
体系的カリキュラムの整備ならびに創造性育成科目の全学的推進を行うとともに、本コース所属学生へのGPA及びポートフォリオを用いた学修管理・指導のほか、学修時間の確保など単位制度の実質化を図る。
- (2) **教員のグローバル教育力の強化**
海外の大学から講師を招聘して行うFD、サバティカル研修制度の積極的活用、グローバル教育力についてのインセンティブ付与、海外協定大学への組織的な教員派遣などを行うとともに、国際的水準にある教員の雇用を推進する。
- (3) **事務体制のグローバル化の強化**
日常業務や語学研修・海外派遣研修を通じた職員の育成を行うとともに、専門能力を備えた職員の配置等により事務体制の強化を図る。また、学内情報の英文化等の促進により外国人研究者や留学生等への情報提供を強化する。
- (4) **日本人学生の留学を促進するための環境整備**
新たに専門能力を備えた職員を配置し、各種相談対応や留学手続等のサポートを行うとともに、現地で起こり得る種々のトラブルに対する指導・管理体制を強化するとともに、大学院進学に向けた修学指導等の拡充を図る。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

本学学士課程においては、グローバル理工人として成長するための基礎力の涵養を目標とし、本構想の「新興国の科学技術の発展に貢献できる人材の育成・学士コース」を修了した学生は、理工系の専門力に加え、次の能力を修得する。

- (1) 国際的な視点から多面的に考えられる能力、グローバルな活躍への意欲
 - (2) 海外の大学等で勉学するのに必要な英語力・コミュニケーション力
 - (3) 国や文化の違いを越えて協働できる能力
 - (4) 複合的な課題について、制約条件を考慮しつつ本質を見極めて解決策を提示できる能力
 - (5) 自らの専門性を基礎として、海外での危機管理も含めて主体的に行動できる能力、科学技術者倫理の理解
- また、本コースの修了者は、大学院課程において更にその能力を高め、大学院課程修了後に真にグローバルに活躍できる人材として育成されることが期待できる。

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016	
外国語カスタンダードを満たす学生数				140人	170人	200人	280人	
うち海外留学未経験者数 (A)				90人	90人	100人	130人	
海外留学経験者数 (B)		65人	64人	90人	110人	130人	180人	
卒業[予定]者数 (C)		1,164人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	
比率 ((A+B)/C)				15.0%	16.7%	19.2%	25.8%	
工学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC750又はTOEFLiBT80		100人(62)	120人(60)	137人(68)	191人(89)	
	海外留学経験者数	26人	14人	40人	60人	80人	120人	
	3カ月未満	25人	14人	38人	58人	77人	114人	
		3カ月～1年	1人	0人	2人	2人	3人	6人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数	814人	840人	840人	840人	840人	840人		
理学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC750又はTOEFLiBT80		20人(14)	25人(15)	33人(17)	47人(22)	
	海外留学経験者数	29人	30人	30人	30人	30人	35人	
	3カ月未満	29人	30人	30人	30人	30人	35人	
		3カ月～1年	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数	184人	190人	190人	190人	190人	190人		
生命理工学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC750又はTOEFLiBT80		20人(14)	25人(15)	30人(15)	42人(19)	
	海外留学経験者数	10人	20人	20人	20人	20人	25人	
	3カ月未満	10人	19人	20人	20人	20人	25人	
		3カ月～1年	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数	166人	170人	170人	170人	170人	170人		

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。